

平成 30 年 8 月 15 日
日本船主協会 企画部広報室

下関市で「大島丸」体験乗船会等を開催 ～海運の認知度向上に向けての活動～

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体等と連携し、「船ってサイコ～」と題した海事施設の見学会等を実施しており、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

今般、8月8日（水）下関市において、下関市港湾局・大島商船高等専門学校・九州海事広報協会と共催で、「大島丸」体験航海を実施し、午前は市内の小学校教員ら 22 名、午後は一般公募で当選した小中学生の親子 42 名が参加しました。

当日は、出港作業を甲板で見学した後に、「下関港」および「海運と船員」に関する講演が行われ、講師より同港は年中無休通関ができる便利な港であることや大量の荷物を運搬する海運は貿易の重要な役割を担っていること、その船を動かす船員の魅力についての説明がありました。



その後の船内見学では、船を操縦する「船橋（ブリッジ）」や機関制御室、訓練生の宿泊部屋などを見て回ったほか、関門海峡を航行する多くのコンテナ船やばら積み船などを間近で見たり、関門橋を下から眺めるなど、普段とは違った関門海峡の景色を楽しみながら航海することができました。

参加者からは「船員の仕事について知ることができた」、「貿易量の 99%以上は船によって支えられていることに驚いた」、「船内には色々な機械があってすごい。将来船に乗って働きたい」などのコメントが寄せられました。

当協会では、今後とも皆様の日々の生活を支える海運を広く知っていただくための活動を実施してまいります。

